



一般社団法人社会情報学会 (SSI)

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17

三鷹ビジネスパーク SOHO プラザ A-301

Tel /Fax : 0422-54-4633 e-mail : office@ssi.or.jp

社会情報学会 (SSI) 会費等振替口座 (ゆうちょ銀行振替口座)

- ・加入者名 (一社) 社会情報学会
- ・口座番号 00150-4-608268

目次

- I 2012 年度第 3 回一般社団法人社会情報学会理事会報告 (2012 年 9 月 16 日開催)
- II 2012 年度第 2 回一般社団法人社会情報学会理事会議事録 (2012 年 6 月 30 日開催)
- III 委員会報告
- IV 2012 年社会情報学会 (SSI) 学会大会
- V 社会情報学会 (SSI) 会員集会報告
- VI 事務局より

I 2012年度第3回一般社団法人社会情報学会理事会報告(2012年9月16日開催)

1. 開催年月日及び時刻 2012年9月16日(日)、11:40~13:00
2. 開催場所 群馬大学 教養教育 GB棟 GB203 教室
3. 出席理事 伊藤賢一・伊藤守・太田敏澄・河又貴洋・栗川隆宏・黒葛裕之・五藤寿樹・桜井成一朗・炭谷晃男・高田洋・田中秀幸・富山慶典・廣松毅・正村俊之・横山正人・吉田寛
4. 欠席理事 和泉潤・遠藤薫・小郷直言・木村忠正・是永論・西垣通
5. 出席監事 藤井史朗
6. 事務局 今田寛典
7. 審議事項
 - 第1号議案 2012年度第2回理事会議事録
 - 第2号議案 入会
 - 第3号議案 仮会員取扱い細則
 - 第4号議案 学生会員取り扱い細則
 - 第5号議案 会員集会規則
 - 第6号議案 研究倫理綱領
 - 第7号議案 個人情報保護に関する規則
 - 第8号議案 支部規則
 - 第9号議案 慶弔規則
8. 報告事項・その他
 - (1) 副会長の会長職務代行順序
 - (2) 2012年度社員総会議事録
 - (3) 2012年度会員状況・納入状況
 - (4) 2012年度収支状況
 - (5) 総務委員会報告
 - (6) 表彰委員会報告
 - (7) 学会誌編集委員会報告
 - (8) 渉外委員会報告
 - (9) 研究活動委員会報告
 - (10) 国際委員会報告
 - (11) 中部支部報告
 - (12) スケジュール案
 - (13) 選挙管理委員選出
 - (14) その他

議事概要

- 1) 伊藤会長挨拶に続き、伊藤会長が議長となり審議事項が協議された。
- 2) 事務局より第1・2号議案が提議され、承認された。第2号議案については**VI-4 会員入会**を参照。
- 3) 総務委員会より第3から9号議案が資料を基に提議された。第6号を除いた議案が承認された。ただし、細則および規則の一部文言については継続審議となった。第6号は次回の理事会で再度提議する。
- 4) 伊藤会長、群馬大学長との懇談のため途中退席。退席後は、廣松副会長が議長となった。
- 5) 総務委員会より副会長の会長職務代行順序が、廣松副会長、遠藤副会長とすることが報告された。以下報告事項・その他(2)から(12)が報告され、(13)については次回の理事会で詳細が報告されることとなった。詳細は、**III委員会報告**を参照。
- 6) 次回の理事会は12月15日中央大学駿河台記念館で開催される。

2012年度第3回一般社団法人社会情報学会理事会議事録は学会ニュース No.4 (12月末発行予定)で報告します。

II 2012年度第1回一般社団法人社会情報学会理事会議事録 (2012年6月30日開催)

1. 招集通知年月日 2012年4月6日(金)
2. 開催年月日及び時刻 2012年6月30日(土)、13:15~16:15
3. 開催場所 中央大学駿河台記念館650号室
4. 出席理事 伊藤賢一・伊藤守・遠藤薫・太田敏澄・河又貴洋・木村忠正・栗川隆宏・黒葛裕之・五藤寿樹・是永論・桜井成一朗・炭谷晃男・高田洋・田中秀幸・西垣通・廣松毅・正村俊之・吉田寛
5. 欠席理事 和泉潤・小郷直言・富山慶典・横山正人
6. 出席監事 藤井史朗
7. 事務局 今田寛典・和泉恵子
8. 審議事項
 - 第1号議案
 - 第2号議案 2011年度事業報告書・収支報告書・貸借対照表・財産目録
 - 第3号議案 2012年度事業計画案(6/7配信済・回覧資料)
 - 第4号議案 2012年度予算案
 - 第5号議案 入会および減額に関する手続き・様式
 - 第6号議案 退会手続き・様式
 - 第7号議案 大会・支部における源泉徴収の扱い(資料なし)
 - 第8号議案 広報・HP委員会の設立
9. 報告事項・その他
 - (1)2012年度第1回理事会議事録
 - (2)2012年度会員状況・納入状況
 - (3)2012年度収支状況
 - (4)総務委員会報告
 - (5)国際委員会報告
 - (6)九州支部報告
 - (7)規程(会員集会・個人情報保護)・研究倫理に関する綱領(資料なし)
 - (8)スケジュール案
 - (9)その他

開会(13時15分)

定刻を過ぎ、事務局長が理事総数22名中18名の出席により定款第46条に定める定足数を充たしているのを理事会が成立していることを確認した。議長は定款45条に定める伊藤守代表理事。書記は事務局和泉。事務局長および議事提案者による議案の内容についてそれぞれの説明があった。

審議概要

- 1) 配布資料に基づき、2011年度事業報告書、収支報告書、貸借対照表、財産目録を承認した。なお、監事からこれらは適正である旨の意見表明があった。
- 2) 既にメール配信済、2012年度事業計画案を承認した。
- 3) 配布資料に基づき、2012年度予算案を承認した。
委員会については、研究活動委員会250,000円、学会誌編集委員会150,000円、他5委員会各100,000円。委員会委員旅費については、各委員会予算内で執行することができる。
支部については、新規設の北海道、東北、関東各50,000円、他4支部は20,000円とした。

4) 資料に基づき、下記の入会申込者 26 名のうち 25 名を承認した。1 名については所属の再確認を行うため、保留とした。

入会者（順不同・敬称略）

樋口邦史 河野義広 霜山博也 岡本剛和 杉浦昌 竹村朋子 岡野匡志
杉本達應 大内斎之 柳文珠 椎塚久雄 大野富彦 山内春光 橋本嘉代
渡辺謙仁 中谷勇哉 高橋みちな 能勢翔 河田隆 藤井亨 坂明信
福武亨 萱間隆 辻正次 相羽律子

西垣理事より、推薦者のいない入会申込者に対して、会長が推薦者になることへの問題提起がなされ、総務委員会において審議することとした。

入会手続き様式を確認した。

入会の承認については、PDF ファイルにパスワードをかけたうえで、理事会 ML で審議を行うこととした。承認については、全員一致が望ましいが、例外的事態等を考慮し、その限りでないこととした。

5) 資料に基づき、退会様式および手続きについて確認した。

6) 資料に基づき、大会、支部、研究会、査読等に発生する源泉徴収の扱いについては、あらかじめそれぞれ予算化し、手続きは本部で行う。

7) 資料に基づき、広報委員会から広報・HP 委員会設立の提案があり、それを承認した。

各委員会 HP 更新・設計可能な実務担当者を 1 名と他を選出することとした。

該当委員会コンテンツ更新、全般の管理・運営、HP サーバー、メールサーバーの管理・運営。JASI、JSIS のアーカイブ化の他、技術的な広報活動等を目的とする。

8) 遠藤理事より、学会誌投稿における所属の扱いについて提起があった。

9) 資料に基づき、2012 年度第 1 回理事会議事録の報告を受けた。

10) 資料に基づき、会員状況、納入状況の報告があった。

11) 資料に基づき、6 月 25 日現在の収支状況の報告があった。

12) 資料に基づき、廣松総務委員会委員長より、第 2 回総務委員会の報告があった。

ロゴの件については、採択なしを了承した。ロゴについては、総務委員会に差し戻し、継続協議とする。

13) 資料に基づき、木村国際委員会委員長より、報告があった。

14) 資料に基づき、河又九州支部支部長より、報告があった。

15) 黒葛理事より、会員集会・個人情報保護・研究倫理に関する綱領についての進捗報告があった。

16) 資料に基づき、今年度スケジュールを確認した。次回は 9 月 16 日（日）群馬大学。

以上、理事会の議事の経過並びに結果が正確であることを証するために、議事録を作成し議長及び議事録署名人はこれに署名押印する。

平成 24 年 7 月 日

議 長 伊藤 守 印

議事録署名人 遠藤 薫 印

議事録署名人 廣松 毅 印

議事録署名人 藤井 史朗 印

Ⅲ 委員会報告

Ⅲ-1 総務委員会

1. 2012 年度第 3 回（一社）社会情報学会総務委員会

- 1) 日時：2012 年 9 月 13 日(木)、14:00～16:30
- 2) 会場：早稲田大学 14 号館 803 号室
- 3) 出席者：廣松毅、黒葛裕之、五藤寿樹、今田寛典、和泉恵子
- 4) 審議事項

- 第 1 号議案 入会
- 第 2 号議案 選挙管理委員選出
- 第 3 号議案 仮会員取扱い細則
- 第 4 号議案 学生会員取り扱い細則
- 第 5 号議案 会員集会規則
- 第 6 号議案 研究倫理綱領
- 第 7 号議案 個人情報保護に関する規則
- 第 8 号議案 支部規則
- 第 9 号議案 慶弔規則

5) 報告事項・その他

- (1) 2012 年度第 2 回総務委員会議事録
- (2) 2012 年度会員状況・納入状況
- (3) 2012 年度収支状況
- (4) スケジュール案
- (5) その他

議事概要

- 1) 入会申込者については、前回保留とした谷口慎一郎氏を理事会にて再協議することとした。
- 2) 12 月中旬、第 1 回選挙管理委員会開催を予定、1 月 1 日公示。
管理委員会委員については会長指名 5 名以内を理事会承認。
- 3) 仮会員取扱規則を理事会へ提案することとした。
- 4) 学生会員取扱細則を理事会へ提案することとした。
- 5) 会員集会規則を理事会へ提案することとした。
9 月 16 日会員集会についての公示は、会場掲示、HP 掲載とする。
- 6) 研究倫理綱領を理事会へ提案することとし、研究活動委員会、学会誌編集委員会と協同で進めることを確認した。
- 7) 個人情報保護に関する規則を理事会へ提案することとした。 26
- 8) 支部規則案を理事会へ提案することとした。
- 9) 慶弔規則案を理事会へ提案することとした。
祝意または弔慰の基準についての文言は再検討。
- 10) 五藤委員より学会ロゴとサーバーについて提案があった。ロゴについては継続協議事項とした。

報告概要

- 1) 会費納入状況を確認した。
 - 2) 収支状況を確認した。
 - 3) 今後のスケジュールを確認した。
- 次回は 12 月中旬、会場は駿河台記念館を予定。

Ⅲ-2 学会誌編集委員会

1. 2012 年度第 1 回（一社）社会情報学会学会誌編集委員会

- 1) 日時：2012年4月7日、13：30～14：30
- 2) 場所：中央大学駿河台記念館
- 3) 出席者：遠藤薫、山本佳代子、北村順生、岡田安功、五藤寿樹、櫻井成一郎、橋元良明、岩井淳、岡田勇、伊藤賢一、野田哲夫、是永論、服部哲

議事概要

(1) 学会誌関連規則について

(2) 学会誌発行スケジュールについて

和雑誌は、6・12・3月のサイクルで3回発行する。6月を特集号、3月に大会特集号として位置づける。

英雑誌は9月発行とする。

今年度については、6月に代えて9月に和雑誌を創刊特集号として発行し、1巻第1号とする。

(3) 学会誌発行体制について

和雑誌、英文誌とも、編集長は毎号交代する。

2. 2012年度第2回（一社）社会情報学会学会誌編集委員会

1) 日時：2012年7月28日、10：00～12：30

2) 場所：学習院大学

3) 出席者：遠藤薫、伊藤賢一、岩井淳、北村順生、五藤寿樹、櫻井成一郎、山本佳代子、吉田純

議事概要

(1) 英文誌について

原稿の種別はこれまで Paper と Research Note としてきたが、これを Original Paper と Research Note に改める。

投稿用のアドレスを（和文誌用のアドレスに準じ）jsi@ssi.or.jp に改める。

編集委員会の英語名を Editorial Board of SSI とする。

(2) 和文誌表紙デザインの決定

3. 2012年度第3回（一社）社会情報学会学会誌編集委員会

1) 日時：2012年9月15日（土）、8：30～9：30

2) 場所：群馬大学荒牧キャンパス教養教育棟 GB203 講義室

3) 出席者：遠藤薫、伊藤賢一、岩井淳、岡田勇、北村順生、五藤寿樹、是永論、櫻井成一郎、田中秀幸、橋元良明、服部哲、野田哲夫、山本佳代子、吉田純

議事概要

(1) 学会誌発行状況

和文誌と英文誌の発行状況について、以下の点を確認した。

- ・和文誌の創刊号（『社会情報学』第1巻1号）発行

採録された原著論文1件は過去 JASI に投稿、審議継続であった。同様投稿原稿2件残っている。

- ・次号の和文誌（『社会情報学』第1巻2号）の編集中

10件の投稿原稿があり、論文種別は7件が「原著論文」、3件が「研究」

- ・英文誌（Journal of Socio-Informatics Vol.5 No.1）が9月末から10月上旬発行予定

(2) 「研究」の審査基準

「研究」は、「原著論文」とは異なるものの価値的には変わらないという位置づけとする。

(3) 次号以降の企画など

次号の和文誌の発行に関連して、現段階で JASI から審査が継続して残っている2件の投稿原稿のうち、1件は採択が確定済である。

(4) その他

英文誌に掲載された柴田会員の解説記事の要約文章を横幹連合で利用することについて、学会の著作権を柴田会員が行使できることを了承した。

Ⅲ-3 渉外委員会

1. 事業報告

横幹科学技術連合に SSI として参加の手続きを取った。

社会学系コンソーシアムに SSI として参加の手続きを取った。

株式会社インフォマティクス宮崎「空間情報シンポジウム」(7月6日開催)を後援し、本学会の資料展示を行った。

2. 2012年度第1回(一社)社会情報学会渉外委員会

1) 日時: 2012年6月30日、11:~12:30

2) 場所: 中央大学駿河台記念館

3) 出席者: 遠藤薫、河又貴洋、木村忠正、櫻井成一朗、炭谷晃男、田中秀幸、廣松毅、福田豊

3. 議事概要:

1) 渉外委員会の役割は、外部の学術団体とのつながりを形成し、維持、発展させることにある。

2) 現在連携関係のある大きな外部団体としては、社会学系コンソーシアム、横幹連合など。

3) 社会学系コンソーシアムとの連携推進。

4) 社会学系コンソーシアムの呼びかけで、「世界へのメッセージ」を作成し、2014年世界社会学会議 (ISA) 横浜大会にて配布

5) 横幹連合との連携

6) 日本学会議との連携。

7) 韓国の Cybercommunication Academic Society の連携。九州支部からの提案。河又先生が窓口。

8) 渉外委員会は、外部組織、団体との窓口なので、国際委員会、研究企画委員会と情報共有することが重要

9) 国際委員会を、渉外委員会の下部とすることもありうるが、まずは現在の構成で活動していく。

10) 他学会(人文社会科学系/必ずしも「情報」を前面に出してはいない学会)との連携の推進・支援をするとともに、その窓口となるのも重要な任務である。

(付記) この他の連携活動として、2012年3月には、計画行政学会との共催による若手支援研究会も開催されている。

Ⅲ-4 研究活動委員会

1. 事業報告

1) 定例研究会専門委員会

第1回定例研究会

日時: 11月24日(土)

会場: 立教大学(予定)

テーマ: クライシスの社会情報学-3.11以後の社会情報学の課題

報告者: 福田充(日本大学)・駒橋恵子(東京経済大学) 討論者(予定) 高橋徹(中央大学)

2) 情報政策研究会専門委員会

通信と放送の融合・共通番号制・オープンソースの3テーマから2テーマについて研究会開催

3) 若手企画研究会専門委員会

日時: 9月14日(金)

場所: 群馬会館会議室

テーマ: 研究活動支援ツールとしての SNS: 利活用のための理解と可能性の検討

Adoption of Social Networking (SNS の社会受容)

2. 研究活動委員会における予算配分および交通費・謝金の支払い規定

1) 予算配分

- ・各専門委員会（定例研究会専門会、情報政策専門委員会、若手企画専門委員会）、公募型研究会の予算をそれぞれ 50,000 万円とする（公募型研究会の予算は部会数にかかわらず、総額で 50,000 万円）。予備費は 50,000 万円。
 - ・ただし、50,000 円は一応の目安であり、委員会間・部会間で必要な所に予算を融通しても構わない。
 - ・今年度は初年度でもあるので、予算が不足した場合には、来年度予算に反映させるために研究活動委員会に申し出る。
- 2) 研究会開催にあたっての交通費・謝金の支払い
- ・学会の会員には、基本的には交通費および謝金は支払わない。ただし、遠方の会員を報告者・討論者として招いた場合には交通費を支払う。交通費は、新幹線や飛行機を利用した際の実費分とする。
 - ・学会の非会員に対しては、交通費と謝金(10,000 円)を支払う。交通費の算出法は会員の場合と同じ。
3. 公募型研究会
- ・下記の二つの研究会の応募があり、いずれも採択された。
 - (1)「社会シミュレーションと人間行動」(代表：太田敏澄)
 - (2)「書籍・ウェブ連携による研究活動のアウトリーチー—東日本大震災被災地における情報支援に関するマルチメディア型報告の試み」(代表：松本早野香)
 - ・研究会の概要と組織構成員については学会のホームページをご覧ください。
 - ・二つの研究会に対しては、それぞれ 25,000 円の予算を配分します。

III-5 表彰委員会

1. 事業報告

1) 表彰委員会第 1 回（2012 年 6 月 30 日、出席者：有馬昌宏、伊藤賢一、遠藤薫、西垣通、太田敏澄）および第 2 回（2012 年 8 月 29 日、出席者：有馬昌宏、伊藤賢一、遠藤薫、西垣通、横山正人、太田敏澄）を開催した。

2) 社会情報学会表彰規則案および同補足表案を審議し、理事会に提案することとした。なお、新進研究賞（仮称）については、引き続き検討することとした。

3) 学会功労賞、社会貢献賞、国際貢献賞、優秀文献賞、優秀論文賞、論文奨励賞、大学院学位論文賞の募集を行い、推薦のあった候補について、それぞれ選考を行った。なお、社会貢献賞、国際貢献賞、論文奨励賞についての推薦はなかった。

推薦件数は、学会功労賞 1 件、優秀文献賞 2 件、優秀論文賞 2 件、大学院学位論文賞博士論文 7 件、同修士論文 9 件であった。

選考にあたって、学会功労賞は表彰委員会で選考を行った。また、優秀文献賞、優秀論文賞、大学院学位論文賞については、各文献ないし論文について、それぞれ 3 名の表彰委員会委員が分担して評価委員を務め、その評価結果に基づき、表彰委員会で選考を行った。いずれの選考ないし評価においても、推薦者や利害関係者は関与しないこととした。

表彰委員会における選考結果は、以下の通りである。

(1) 学会功労賞

島田達巳氏

(2) 優秀文献賞

関谷直也：風評被害 —そのメカニズムを考える—，光文社新書，2011 年 5 月 20 日刊

(3) 優秀論文賞の選考について

今年度該当なし

(4) 大学院学位論文賞

博士論文の論文賞

大井奈美：ネオ・サイバネティクスの近現代俳句研究

—文学研究にたいする基礎情報学の批判的応用—

博士論文の奨励賞

杉浦昌：情報セキュリティ・マネジメントの有効性に関する研究

－ゲーム理論によるモデル化と分析－

修士論文の論文賞

堀川裕介：ネット利用が子どものコミュニケーション行動、心理傾向に及ぼす影響

－中学生へのパネル調査によるインターネット・パラドクスの再検証－

修士論文の奨励賞

高木聡一郎：Essays on the Globalization of Information Services and Japanese Economy

堀江真弘：広告と企業価値に関する定量的実証分析

2. 社会情報学会 表彰規則（案）

（目的）

第1条 この規則は、社会情報学会（以下、本学会という）が行う表彰につき定める。

（表彰の区分）

第2条 本学会が行う表彰は、次の種類とし、本規則にもとづく選考の結果、該当するものがあった場合に表彰を行う。

(1) 学会功労賞

学会の発展に著しく功労のあった者につき表彰する。

(2) 社会貢献賞

社会情報に関するシステムや制度についての斬新な発想、啓発、普及、導入、実施における優れた貢献につき表彰する。

(3) 国際貢献賞

社会情報に関して国際的に優れた貢献につき表彰する。

(4) 優秀文献賞

著書、翻訳、論文等で、社会情報関係諸学の発展に特に貢献のあったと認められる文献につき表彰する。なお、文献の刊行時期は前年度、および前前年度とする。自薦を可とする。

(5) 優秀論文賞

本学会の学会誌に掲載された論文で、社会情報学の発展に寄与すると認められる論文につき表彰する。なお、論文の刊行時期は前年度とする。

(6) 論文奨励賞

本学会の学会誌に掲載された論文で、著者が掲載時40歳未満ないし大学院在学時の論文のうち、社会情報に関する研究として優秀であり、関係諸学の発展に寄与すると認められる論文につき表彰する。なお、論文の刊行時期は前年度とする。

(7) 大学院学位論文賞

修士論文ないし博士論文で、社会情報に関する研究として優秀と認められる論文につき表彰する。なお、学位認定の時期は前年度とする。推薦者は、学位論文主査ないし指導教員、あるいはこれらに準ずる正会員とする。

(8) 研究発表優秀賞

学会大会における研究発表につき、社会情報に関する研究として優秀と認められる研究発表につき表彰する。

（表彰者の選考）

第3条 表彰該当者の選考は、本学会の定款第60条第2項に基づく表彰委員会が行い、その推薦にもとづき、理事会の議を経て、表彰者を決定する。

但し、前条の(8)に規定する研究発表優秀賞の選考については、予め表彰委員会ならびに理事会の委任を受けて、別に定める委員会が行うことができる。

（表彰の実施）

第4条 表彰の実施は、会長名によって行い、表彰の方法については、別途に要綱をもって定める。
(この規則の改正)

第5条 この規則の改正は、表彰委員会の提案により、理事会の議を経て会長が行う。
(付則)

1. 平成24年6月30日より施行する。

III-6 国際委員会

1. 事業報告

1) 国際会議共催

9月4日～7日に台北で開催された4th World Congress on Social Simulation (WCSS2012)におけるワークショップ Social Media and Simulation in Social Informatics を SSI 共催として開催
学会 HP <http://www.aiecon.org/conference/wcss2012/>

WS HP <http://www.aiecon.org/conference/wcss2012/workshop.htm>

12月14日～19日アメリカフロリダオーランドで開催される ICIS2012 (<http://icis2012.aisnet.org/>)
における、JPAIS (Association for Information Systems 日本支部) /JASMIN (経営情報学会)
International Meeting を SSI として後援を予定。

2. 2012年度第1回(一社)社会情報学会国際委員会

日時: 2012年7月28日、13:30～14:30

会場: 東京大学駒場キャンパス

出席者: 遠藤薫、太田敏澄、横井茂樹、木村忠正

議事概要

1) 国際委員会のミッション(別項参照)

渉外委員会との活動区分について、メタレベル、学会間関係の取り決めなどは、渉外委員会、それに対して、具体的なイベント、会議、WSの共催などは国際委員会、ととりあえず、大きな役割分担の枠組みで活動する(活動の進捗に応じて、随時見直す)。

2) 活動の基本方針

「SSIに関連する国際学会・会議などの日程についての情報収集と提供」を基本的な活動項目に追加する。

3) 国際会議共催関係

4) 国際会議開催応募

5) 社会情報学会 第1回国際貢献賞推薦について

6) SSI 広報・HP 委員会

国際委員会からは岡田先生に HP 委員になっていただく。

7) 予算について

8) その他

2. 委員会のミッション

1) 海外の社会情報学、情報ネットワーク研究、メディア研究に関連した学会におけるシンポジウム、国際会議、ワークショップなどでの連携

2) 海外の研究プロジェクトに対する SSI としての参画

3) 他の国際学会・会議について協賛・共催を積極的に推進する

4) 他の国際学会・会議において SSI を代表したかたちでの講演、ワークショップ、パネルなどの企画立案、支援

5) 国際会議開催、海外の研究者招聘事業などの各種公募に対する、SSI としての企画立案応募

6) 研究者の国際学会発表などを支援するプログラムとの連携

7) SSI と関連する国際学会・会議などの日程についての情報収集と提供

III-7 支部報告

(一社) 社会情報学会中部支部報告

(1) 支部の規則の制定

旧 JASI の支部規則を基に作成する。根拠となる本部の「支部設置要綱」について総務委員会に問い合わせ中

(2) 支部役員（運営委員）の決定

旧 JSIS+JASI で運営委員を選定中

(3) 臨時支部総会の開催

本年中に開催を予定。規則、役員、事業計画、予算を確定して本年度の活動を実行する。

(4) 資金については、旧 JASI 中部支部の財源+本年度分の支部支援費

IV 2012 年社会情報学会 (SSI) 学会大会報

社会情報学と世界—新たな創造と共有に向けて—

IV-1 学会大会

2012 年 9 月 14 日 (金) ~16 日 (日)、群馬大学荒牧キャンパス

学会大会の参加者は 222 名 (招待者 19 名やワークショップ参加の一般市民 7 名を含む) であった。

9 月 14 日 (金)

自由報告 18 編 12:30~14:30

ワークショップ 東日本大震災における情報行動・消費行動と不安・安心意識 12:30~14:30

基調シンポジウム (実証系) 14:00~17:10

日本社会情報学会 (JSIS) 理事会 17:20~19:30

若手カンファレンス 研究活動支援ツールとしての SNS : 利活用のための理解と可能性の検討
18:30~21:00

9 月 15 日 (土)

自由報告 20 編 09:00~11:30

ワークショップ 気仙沼のいま : 情報の共有と長期的支援について考える 9:30~11:30

日本社会情報学会 (JSIS) 会員総会 11:40~12:40

特別公演 世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」について 13:30~15:00

基調シンポジウム (理論系) 15:10~17:40

表彰式 17:50~18:20

懇親会 77 名参加 18:30~20:30

9 月 16 日 (日)

自由報告 29 編 9:30~11:30、14:00~16:00

ワークショップ (1) 恋愛ドラマ等に見るケータイのメディア表現 9:30~11:30

(2) Adoption of Social Networking (若手英語ワークショップ) 9:30~11:30

(3) ゲーム依存の対策を考える 14:00~16:00

(4) 複合メディア環境におけるスクリーンの偏在 14:00~16:00

—「メディアコンプレックス」と考古学の視点から

2012 年度第 3 回一般社団法人社会情報学会理事会 11:40~13:00

SSI 会員集会 13:00~13:50

IV-2 表彰式

9 月 15 日 (土)、17:50~18:20

1. 2012 年度賞受賞者

学会功労賞 島田達巳さん

優秀文献賞 関谷直也さん

優秀論文賞 今年度該当なし

大学院学位論文賞

博士論文の論文賞 大井奈美さん

博士論文の奨励賞 杉浦 昌さん

修士論文の論文賞 堀川裕介さん

修士論文の奨励賞 高木聡一郎さん

堀江真弘さん

2. 2011 年度学会大会での研究発表賞受賞者

研究発表賞

曾我千亜紀さん

趙 章恩さん

那須田悠貴さん

森やす子さん

表彰受賞者は、懇親会に招待されました。

IV-3 懇親会

9月15日金曜日、18時～20時、群馬大学学生会館（学生食堂）

伊藤会長が挨拶の中で、「今後、SSI の国際交流を積極的に進める」との決意が述べられ、台湾・台北大学商学院長、方文昌氏が紹介された。方氏は、e-CASE や e-TECH などの国際会議を主催されている。紹介の後、方氏が挨拶され、SSI にエールを贈られた。来年の学会大会には、台湾からの出席を期待されます。

2012 年度学会賞受賞者と 2011 年度学会大会研究発表賞受賞者一人一人が紹介され、一言受賞の喜びと感謝、さらに一層の決意が述べられた。

情報交換、懇談が進み、時間の経過も忘れてしていると、20時30分、前橋駅行きのチャーターバス発車の案内があり、懇親会参加者はバスに乗り、それぞれの宿泊ホテル等に向かった。

V SSI 会員集会

9月16日土曜日、13:00～13:50

SSI 活動・運営に会員諸氏の意見を反映するために、第1回 SSI 会員集会が持たれた。

1. 伊藤会長挨拶

会員の会務運営に対する意見を集約し、会員の疑問に応え、本会の民主的な運営を担保するために開催することを目的としています。忌憚のない意見をお願いします。

2. SSI 報告

事務局より SSI の活動について報告があった。

(1) SSI 役員構成

社員 2 名

会長・副会長 2 名・理事 19 名・監事 2 名

事務局 2 名

7 委員会・7 支部

(2) 2011 年度 SSI 活動報告

第1回社員総会、3月4日日曜日、東京大学で第1回開催 社員2名出席

第1回理事会、3月4日日曜日、東京大学で第1回開催

(3) 2012年度 SSI 活動報告

2012年度定時社員総会、6月30日土曜日、中央大学駿河台記念館で開催、社員・監事3名出席

2012年度第2回 SSI 理事会、6月30日土曜日、中央大学駿河台記念館で開催

2012年度第3回 SSI 理事会、9月16日日曜日、群馬大学で開催

3. SSI 役員紹介

(1)各委員会委員長および副委員長より委員会活動について説明

(2)各支部長より支部活動について説明

(3)理事・監事の自己紹介

4. 廣松副会長挨拶

SSI の発展を願いつつ会員の皆さんと共に活動をしてまいりたいと思います。

VI 事務局より

VI-1 2012年度一般社団法人社会情報学会事業会計予算及び収支中間報告

(24年9月13日、単位：円)

	予算額	実績	対予算	備考
I 収入				
1 会費収入				
正会員	5,440,000	4,850,000	590,000	544名×10,000円（1年未納JASIなし、JSIS18名）
学生会員	610,000	265,000	345,000	122名×5,000円（1年未納JASIなし、JSIS18名）
団体会員	200,000	200,000	0	1社4口
団体会員	450,000	450,000	0	9社1口
賛助会員	0	0	0	
2 事業収入	0			
3 寄付金収入	6,166	6,166	0	JASI
4 雑収入				
受取利息		53		
その他雑収入	300,000	0	300,000	CiNi（SSI、JASI）、学会誌販売、立替金返金他
当期収入合計A	7,006,166	5,771,219	1,234,947	
前期繰越収支差額	-6,166	-6,166	0	
収入合計B	7,000,000	5,765,053	1,234,947	
II 支出				
1 事業費				
和文学会誌発行費	1,220,000	0	1,200,000	年3回発刊
英文学会誌発行費	420,000	0	420,000	年1回発刊、査読謝礼、翻訳
会員名簿作成費	0	0	0	
学会賞	250,000	170,385	79,615	学会賞副賞、受賞者大会参加費・懇親会費
委員会運営費				
研究活動委員会	250,000	250,000	0	
学会誌編集委員会	150,000	150,000	0	
総務委員会	100,000	0	100,000	
表彰委員会	100,000	100,000	0	
国際委員会	100,000	100,000	0	

渉外委員会	100,000	100,000	0	
将来委員会	100,000	100,000	0	
支部助成費	230,000	60,000	170,000	7支部 中部 九州 中国四国
部会助成費	0	0	0	1部会
関連学会費	68,000	60,000	8,000	横幹連合、社会学系コンソーシアム、『学術の動向』
印刷費	100,000	0	100,000	
学会大会補助費	100,000	88,000	12,000	企画委員会旅費×2会
雑費	0	0	0	
2 管理費				
会議費	50,000	19,845	30,155	会場費他
理事会旅費交通費	600,000	181,000	419,000	理事会 3回交通費
通信運搬費	300,000	202,958	97,042	切手、メール便、電話
印刷費	200,000	0	200,000	会議資料
消耗品費	200,000	120,953	79,047	トナー、封筒、用紙他
事務局賃貸料	408,000	165,141	242,859	@29,800円×12ヶ月 @4,000円×12ヶ月
業務委託費	1,620,000	1,215,000	405,000	
臨時雇用賃金	0	0	0	
雑費	200,000	25,035	174,965	交通費・振込手数料他
法人税	70,000	0	70,000	市税、都税
3 予備費				
予備費支出	120,000	0		
当期支出合計 C	7,036,000	3,108,317		
当期収支差額 A-C	-29,834	2,662,902		
次期繰越収支差額 B-C	-36,000	2,656,736		

*次年度繰越金

郵便局振替口座	郵便局総合口座	三井住友銀行	合計
321,000	1,587,945	747,791	2,656,736

VI-2 会員の状況

10月10日現在、会員総数 704 名。

名誉会員 7 名、正会員 631 名、学生会 56 名、団体会員 10 団体、賛助会員 0 団体

VI-3 会費納入状況（納入率）

正会員 85.6%

学生会員 75.0%

団体会員 100%

VI-4 会員入会（6月30日～9月30日）

学生会員

福田朋実 東洋大学大学院

石田剛朗 慶応義塾大学

大嶋啓太郎 愛知工業大学大学院経営情報研究科

藤原 整 早稲田大学大学院社会科学部研究科

正会員

谷口慎一郎 日本防災士会奈良県支部

秋谷直矩	京都大学物質・細胞統合システム拠点
太田秀夫	茨木大学産学官連携イノベーション創成機構
佐久間勲	文教大学情報学部
日吉昭彦	
木村 純	川村学園女子大学文学部
服部孝章	立教大学社会学部
村瀬博昭	(株)NTT データ経営研究所
米倉達広	茨木大学工学部
水野義之	京都女子大学現代社会学部
行実洋一	東京放送

VI-5 寄贈図書

浅岡隆裕著：メディア表象の文化社会学 <昭和>イメージの生成と定着の研究，ハーベスト社

VI-6 財団法人電気通信普及財団

海外渡航旅費援助

4月、6月、8月、10月、12月、2月、の各1日までに応募ください。(期日厳守)

http://www.taf.or.jp/fbunka/D_ktoko.html

VI-7 『第4回横幹連合総合シンポジウム』

日時：11月1日(木)～2日(金)

会場：日本大学 生産工学部 津田沼キャンパス

大会 HP：<http://www.trafst.jp/sympo2012/index.html>

VI-8 教員公募

1. 文教大学情報学部情報社会学科(設置構想中)専任教員(教授・准教授・講師のいずれか)2名公募
募集分野：

- 1) 「ソフトウェアの品質」関連ソフトウェアや情報システムの構築に係わる、品質管理、開発計画、テスト技法などに関する講義と演習を担当。
- 2) 「問題解決法」関連データ分析力と課題抽出力を得るためのロジカルな思考力を養成することを目的とする問題解決法その他、経営戦略論、ビジネスモデル論などに関する講義と演習を担当。

応募期限：2012年10月31日郵送必着

詳細：JRECIN

http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D112090847&ln_jor=0

http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=4&id=D112090850&ln_jor=0

文教大学ホームページ(応募書類をDLすることができます)

<http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm>

2. 電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻 教員公募

1) 職名・募集人員：教授2名 准教授1名(社会知能情報学分野)

2) 専門分野等

社会知能情報学専攻は、人間・社会システムの現場の視点に立ち、情報システムの最新技術の問題解決に活用することにより、新しい社会生活の実現に向けた実践的システムの開発・提案に積極的に取り組む専攻です。知能情報学、教育情報工学、社会情報学、経営情報学、あるいはそれらの複合領域など広い対象領域において、工学的アプローチによる分析やシステム構築を目指す研究分野を対象とします。

Key words : 人工知能、知識処理、教育、ソーシャルメディア、社会ネットワーク、**Human Computer Interaction**、リスク工学、プロダクトマネジメント、ビッグデータ活用、情報デザイン、複雑系、集合知など

3) 担当講座等

担当講座は、応募者と相談の上で決定します。

- ・知識創産システム学講座(教授)／社会情報システム学講座(教授)
- ・経営情報システム学講座(准教授)

講義は、各講座が開講する専門科目や社会知能情報学合同輪講などの大学院科目を担当させていただきます。

4) 応募資格 :

(1)博士の学位を有すること

(2)上記の専門分野において実績があり、教育と研究を通して同分野の発展に貢献できること

(3)情報系・工学系の大学院学生に向けた研究指導および講義を担当できること

(4)日本語により学生を指導できること

5) 採用予定 : 2013(平成 25)年 4 月 1 日 (それ以降のできるだけ早い時期)

6) 応募締切 : 2012(平成 24)年 10 月 17 日 (水) (必着)

7) 応募書類・応募先などの詳細は下記をご覧ください。

<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20120816-2.pdf

8) 問い合わせ先

電気通信大学 大学院情報システム学研究科 社会知能情報学専攻長 田中健次

E-mail : tanaka@is.uec.ac.jp

VI-9 一般社団法人社会情報学会 (SSI) 2012 年度第 3 回理事会議事録

学会ニュース No.4 で報告します。